

大学院生・ポスドクを中心とした

第10回コンソーシアム人材セミナー in 広島

産学連携とイノベーション ーライフサイエンス企業の研究現場、 先端分析科学とタンパク質研究などー

平成27年 **10月30日(金)**

セミナー 14:30~15:30

懇談会 15:40~16:30

会場:東広島キャンパス
理学部 E棟 E002講義室

本セミナーは5研究科共同
セミナーの単位となります

講師：鈴木 榮一郎 氏

(味の素(株)元上席理事)



味の素株式会社

【所在地】 東京都中央区京橋一丁目15番1号

【資本金】 798億6,300万円

【従業員数】連結:31,312名 単独:3,484名(2015年3月31日現在)

【事業内容】食品、アミノ酸、医薬品等の製造及び販売

【申込方法】

1.第10回・2.名前・3.所属・4.学年(職名)・5.懇談会への参加・不参加を明記して、
下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。

※ 申込締切：10月28日(水)

* 申込み・問い合わせ先 *

広島大学グローバルキャリアデザインセンター(担当 都留・東)

E-mail : wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

TEL : 082-424-4564

URL : <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

* 講演概要 *

味の素(株)は、百年以上前、産学連携から出発し、近年、真のグローバル健康貢献企業を目指すべく、“イノベーション”研究所を発足させた。まず、イノベーションは、「新価値創造」であり、研究者がこの視点を持つことで、研究が単なる学術段階に留まらず、社会経済的意義ある段階に進展することを実体験から解説する。続いて、アミノ酸・ペプチド・核酸等の生産性向上を目指した、産業用酵素の高機能化改変等のタンパク質研究の実施例を紹介することで、タンパク質構造機能情報が産業界で果たす重要な役割を知って頂く。最後に、アミノインデックス®を筆頭に、健康・病態の指標として、或は、医薬品の品質保証において、NMRやMS等の先端分析科学と博士等の人材が研究現場で果たす役割について解説する。

* 講師プロフィール *

【学歴】

昭和49年 東京大学 理学部化学科 卒業
昭和51年 東京大学大学院 理学系研究科 化学専門課程 修士課程 修了
昭和52年 東京大学大学院 薬学系研究科 製薬化学専門課程 博士課程 中退
昭和57年 薬学博士(論文)

【職歴】

昭和52年 味の素株式会社入社
同上 中央研究所 研究員
平成13年 同上 特別主席研究員(特別待遇部長)
平成17年 味の素株式会社退職、理事(役員待遇)受嘱、平成23年役付役員待遇
平成25年 同上 退任、客員フェロー(人事部嘱託)受嘱
平成26年 味の素株式会社客員フェロー退任(同社最終退職)

【その他】

横浜市立大学大学院生命医科学研究科 客員教授
東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC) 研究所研究員
東京理科大学及び東京電気大学 非常勤講師